

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アプリ児童デイサービス高根公団			
○保護者評価実施期間	2025年12月8日 ~			2026年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2026年1月12日 ~			2026年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月22日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	営業日は毎日、個別課題に取り組む時間を設け、利用児一人ひとりのニーズに応じた課題を提供している点	個別課題に取り組む際の様子や到達段階を記録し、職員間で共有することで、継続性のある支援につなげている。あわせて、支援が固定化しないように、新しい課題を作成するなど工夫を行っている。	今後は、児童一人ひとりの特性をより丁寧に把握し、それぞれの特性に応じた個別性の高い支援を行うことで、支援内容のさらなる充実を図っていく。
2	女児の利用が比較的多く、そのため同性同士で関わりながら遊ぶ機会が多い環境となっている。	女児の利用が多く同性同士で遊ぶ機会が多い現状を踏まえ、今後は異性との関わりや多様な人間関係を経験できるよう、活動内容や声かけを工夫していく。	今後も児童一人ひとりの特性や気持ちを尊重しながら、安心して新しい関係性に挑戦できる支援を行い、支援内容のさらなる充実を図っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンスペースや静養室など、児童が気持ちを落ち着かせたり、個別に休息を取ったりできる専用スペースが十分に確保できていない点	事業所の構造上、限られたスペースで運営していること	構造上の制約により個別スペースの確保が難しい現状があるが、環境設定や物品の工夫、職員間の連携を通じて、児童が安心して過ごせる支援体制の充実を図っていく。
2			
3			